



10月 いちごぐみだより

2021年 10月

尚徳福祉会 末長こぐま保育園

少しずつ涼しくなってきました。いちご組の子どもたちはすっかり歩くことが上手になりました。葉っぱの色付きやどんぐり拾いなど秋の自然は楽しい変化がいっぱいです。散歩車に乗ったり、保育者と手を繋いで歩いたりしながら戸外での活動を取り入れ、季節の移り変わりを子どもたちと感じていけたらと思います。



♪体操を楽しんでいます♪

歩行が少しずつ安定してきたことで、9月から活動に体操を取り入れています。「ちょっとだけ体操」、「フルフルフルーツ体操」など振り付けが分かりやすいものや、なじみのある単語が出てくるものを中心に行っています。

保育者が見本として踊っていると、不思議そうに見つめるいちご組の子どもたち。慣れてくると一緒に身体を揺らしたり、手を叩いてみたりしながら体操を楽しむ姿が増えてきました。掛け声をかけるところは一緒に声を出してくれる子もいます。

今後も子どもたちと様々な体操を行いながら、身体を動かす楽しさを感じていきます。

伝えたい、想いが心にある——

身の周りの物やお友だちに興味が出てきた子どもたち。「〇〇ちゃんはどこ？」と聞くとその子を探して指差して教えてくれます。また、言葉も少しずつ出てきて、お友だちの名前を呼んだり「アッチ」と行きたい方向を訴えたりしてくれます。

言葉の出かたには個人差がありますが、みんな大人の言うことを理解できるようになってきています。遊びの中で保育者が「ちょうだいな」「どうぞ」「ありがとう」「おいしい」などの簡単なやり取りを始めると一緒に楽しめるようになりました。



お部屋を模様替えしました

先日、保育室の模様替えをしました。歩くことが上手になってきたので、歩行スペースを広く取れるようにしました。また、今まで絵本を読む時は布団の上やベンチに座っていましたが、テーブルと椅子でも読めるように棚の配置を変えました。

最初は変わった環境に不思議そうにしていたのですがすっかり慣れ、より活動が充実しているように感じます。今後も子どもたちの興味や関心、発達の段階に応じて部屋の環境を適宜整えていきます。

お友だちとのふれあい

入園当初から楽しんでいるふれあい遊び。子どもたちも身体に触れられる心地良さを味わっています。最近はお友だちの足をつまんだりくすぐったりする姿も見られます。

9月のある日のことです。立っている子と座っている子が手を繋いでいました。どうするのかな、と見ていると、立っている子が足を交互に上げて身体を左右に揺らし始めました。普段は保育者と手を繋ぎ「ももやももや」のわらべうたに合わせてやっている動きですが、その時は子ども同士でも自然に楽しんでいるようでした。ふれあい遊びを通して保育者だけでなく、お友だちとの関わりが生まれたことを嬉しく思います。

今後も保育者と子どもはもちろん、子ども同士の関わりも深めていきたいと思っています。

